



経尿道的前立腺切除術を  
受けられる患者さんへの説明文書

東京女子医科大学 泌尿器科

# 説明書

治療の名称	経尿道的前立腺切除術
-------	------------

## 説明項目

### 1. 診断名（病気の名前と進行度）

- 前立腺肥大症

### 2. 病気の説明（どこに、なにがおきてどうなっているのか）

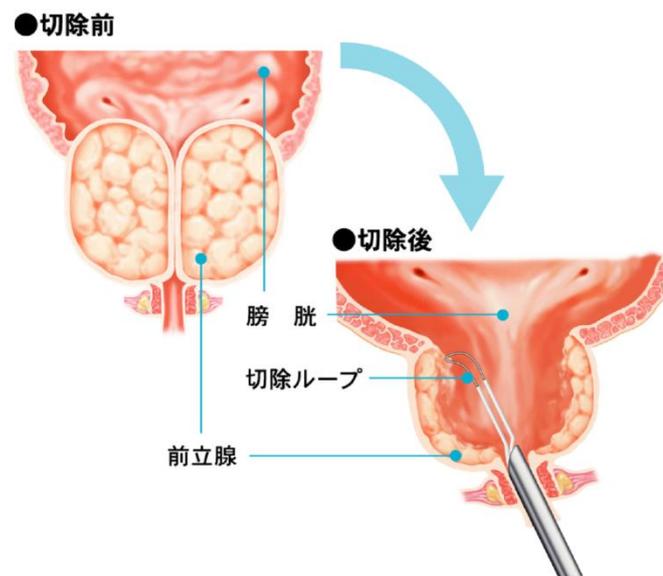
- 前立腺が肥大することで、尿道が狭くなっている状態です。そのため、排尿時の尿勢低下や1回排尿量の低下、排尿時間の延長、頻尿などの症状があります。

### 3. 目的および必要性（なぜこの方法が提案されたのか）

- 前立腺肥大症の内服治療に効果が乏しい方や、内服加療をしても尿閉になってしまった方を対象に、手術を行うことが望ましいと考えます。

### 4. 方法（なにをどうするのか）

- 検査は入院のうえ、全身麻酔もしくは腰椎麻酔下に手術を行います。
- 両足を開脚する姿勢（碎石位）になります。所要時間は1～2時間程度です。
- まず尿道から挿入した膀胱鏡を用いて、前立腺肥大の程度を観察します。
- 次にループ状の電気メスで肥大した前立腺を切除し、洗って体外へ排出します。
- 最後におしこの管（尿道カテーテル）を挿入します。切除した前立腺部から出血しないよう、尿道カテーテルを足にテープで固定して牽引します。また固まった血塊で尿道カテーテルが閉塞しないように、持続洗浄をして終了となります。



### 5. 受けた場合の予想される経過（期待されること）

- 検査当日はベッド上で安静になります。
- 翌日より尿道カテーテル内の血尿の程度を判断し、持続洗浄の中止を検討します。

- 持続洗浄中止した翌日に、血尿の悪化がなければ尿道カテーテルを抜去します。その後、ご自身での排尿が問題無ければ退院となります。
- 入院期間は5日～1週間程度です。
- 切除した前立腺は顕微鏡の検査へ提出します。検査結果は約1～2週間後に外来でご説明します。

## 6. 危険性および起こりうる合併症について（心配されることや副作用）

手術は安全に行われますが、下記のような合併症がおきることがあります。

### <手術中に起こりうること>

- 出血：前立腺は血液豊富な臓器です。そのため大きな前立腺を切除すると出血が多くなる傾向があります。
- 前立腺被膜の損傷：前立腺の外側の膜（被膜）に穴があき、その穴から手術時に使用する生理食塩水がもれることがあります。
- 血尿による尿道カテーテル閉塞：手術後、血尿がひどい時には血液の塊ができることがあります。それにより尿道カテーテルの孔が閉塞し、尿閉になることがあります。

### <手術後・退院後に起こりうること>

- 血尿：切除した前立腺の傷痕が治るのに1ヶ月前後かかります。その間は排尿時に出血し、血尿が出ることがありますが、通常は自然に止まります。また下腹部に強く力を入れるような動作を避け、血尿が出たら水分を多く取り排尿を促すようにします。
- 感染：まれに細菌が前立腺や精巣上体（陰嚢の上側方）に入り、炎症がおきることがあります。
- 頻尿・排尿時痛：通常数週間で自然に改善します。
- 尿道狭窄：手術後まれにみられ、排尿困難や排尿時痛を自覚します。
- 尿失禁：尿道カテーテルを抜去した直後は、排尿が間に合わずもれやすくなります。
- 逆行性射精：手術により射精した精液が膀胱に逆流することが、高率に起こります。
- 男性機能低下：術後に勃起力が低下したと訴える方はおりますが、多くはありません。

## 7. 合併症発生時の対処について（費用負担もふくめて）

- 合併症改善へ迅速に対応します。
- 出血：尿道カテーテル牽引と持続洗浄にて改善が得られない場合には、再度手術にて止血を図ります。
- 前立腺被膜の損傷：小さな穿孔であれば、尿道カテーテルを眺めに留置することで通常自然に治ります。大きな穿孔であれば、開腹手術にて修復する可能性があります。
- 血尿による尿道カテーテル閉塞：生理食塩水で膀胱内を洗浄し、血液の塊を除去します。その後、尿道カテーテル牽引や持続洗浄の再開をします。
- 感染：抗生剤（点滴・内服）で加療します。入院期間が延びることがあります。

- 尿道狭窄：尿道を広げる処置（尿道ブジー）が行われますが、繰り返す場合には尿道切開術や形成術が必要になることがあります。
- 尿失禁：通常自然に治ることが多いですが、持続する場合には尿道括約筋を強化するトレーニングや内服薬で加療します。
- なお、合併症が発生した場合も、一般的には医療保険で対応いたします。

#### 8. 受けない場合の予測される経過、代替手段（他の治療法）

- 尿閉にならないよう、内服コントロールに努めます。
- 尿閉の既往がある方で、全身状態により手術が施行できない方や手術を希望されない方は、間欠的に尿道へ細い管を入れて排尿をする自己導尿や尿道カテーテルを留置する方法があります。

#### 9. 説明内容の理解と自由意思による同意承諾およびその取り消しについて

- いったん同意をされた場合でも、いつでも撤回することができます。やめる場合は、その旨を担当者へ連絡してください。
- この処置に同意されるかどうかは、患者様の意思が尊重されます。同意されない場合でも、不利益を受けることはありません。

経尿道的前立腺切除術を受けられる患者さんへの説明文書  
東京女子医科大学泌尿器科学教室  
Department of urology, Tokyo women's Medical University.

以上の点について説明を受け、よく理解し、検査に同意します。

年 月 日 患者氏名 :

---

患者家族氏名 :

1)

---

2)

---

3)

---

その他、特に説明した内容

a)

---

b)

---

以上の点について、患者、患者家族に十分説明しました。

説明日 : 年 月 日 施行予定日 : 年 月 日

---

診療科名 :

説明医師 :

---